

## 土壌と地質

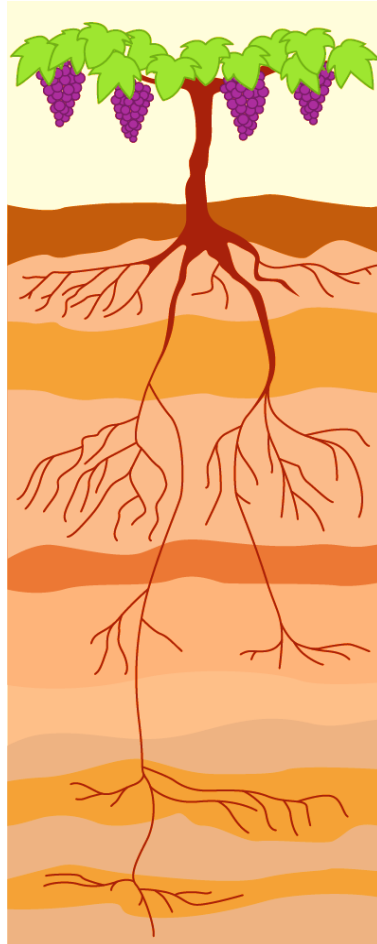
地球上には気候や植生などの条件の違いによって、さまざまな種類の土壌が存在します。土壌とは基盤岩を覆っている地面から2メートル以内の表面層。土砂や火山灰などの鉱物質(無機成分)と、草木や樹木、落ち葉、動物の死骸をはじめとする土壌生物に分解された微生物に由来する有機腐植物(有機成分)で構成されます。地質とは地球を形成している地層や岩石などの性質や状態を指します。

### 葡萄畑の多様性

葡萄畑の土壌と生態系は、葡萄品質に影響する重要な要素である。微生物などの土壌生物は、分解者として、自然界の物質循環における重要な役割を果たしている。土壌を特徴づける構成粒子は粘土、砂、砂利、シルト、黄土、ロームなど。

### 葡萄の構造

葡萄の根は主となる太い基本構造ができてから、細かい側根が次々に生え、更に細かい三次根(ひげ根)が生える。三次根は受動的、また能動的に土中より必要な水や栄養素を取り込む。



### 排水性

土壌深くに根を張ることで、灌漑や降雨量など様々な気象の変化に対応する、病気に強い樹となる。

### 土壌内の微生物

土中の様々な微生物の活動により土壌の性質は変化する。土壌微生物学者の世界的権威であるフランスのクロード・ブルギニョン氏の長年の調査により、除草剤や化学農薬・肥料を用いられていない土壌では、葡萄根は地中深く根を張ることが分かっている。

## 葡萄栽培に適した代表的な土壌と主な産地

### 地質

### 産地

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| ・白亜質、石灰質     | (仏) シャンパーニュ(シャブリ) シェリー、  |
| ・粘板岩、スレート、片岩 | (独) モーゼル川流域、アルト・ドウロ      |
| ・珪板岩と石灰質     | (仏) ブルゴーニュ、サンテミリオン       |
| ・粘土質         | (仏) ポムロール(メルロ)           |
| ・砂利質         | (仏) ボルドー(カベルネ・ソーヴィニオン)   |
| ・花崗岩         | (仏) 北ローヌ(ボジョレー ガム)       |
| ・泥岩板         | (西) プリオラート(ガルナッチャ・カリニャン) |

その他：●キンメリジャン ジュラ紀後期、約1億5500万年前～1億5200万年前の地質年代。

シャブリ、ロワールのサンセール周辺、シャンパーニュのオーブ地区。

- テラロッサ(Terra rossa) イタリア語で赤い土。石灰岩の風化によりでき、地中海沿岸に分布。オーストラリアのクナワラ地区(カベルネ・ソーヴィニオン)など。